

2019年2月22日

各 位

デンカ株式会社

バイオスティミュラント市場への本格参入を決定

デンカ株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：山本 学）は、経営計画「Denka Value-Up」のもと推進しているスペシャリティー事業の成長加速化の一環として、バイオスティミュラント市場へ本格参入することを決定いたしました。

バイオスティミュラントは「植物やその周辺環境が本来持つ自然な力を活用することにより、植物の健全さ、ストレスへの耐性、収量と品質などに良好な影響を与える様々な物質や微生物」を指します*1。世界市場規模は2018年の約22億USドルから2022年には約33億USドルへと拡大し、その成長率は年率10.4%になると予測されています*2。

世界では、人口増加による農産物需給のひっ迫、地球温暖化と気候変動の影響による農産物被害の深刻化などが大きな問題となっており、それらの解決手段の一つとしてバイオスティミュラントに大きな期待が寄せられています。

当社は、50年以上にわたり国内を中心にバイオスティミュラントの一つである腐植酸を使用した肥料「アヅミン®」を販売してまいりました。「アヅミン®」は土壌改善に加えて、乾燥、低温などの不良環境下のもとでも、主に農作物の根を活性化し生育改善に大きな効果を発揮することから、多くの農業生産者より高い評価をいただいております。

「アヅミン®」の製造販売により蓄積した技術的知見を基盤に、当社は腐植酸製品のさらなる高機能化や、オープンイノベーションによる新たなバイオスティミュラント製品の開発を推進してまいります。さらに海外32拠点のデンカグループのネットワークを活用し、海外のバイオスティミュラントメーカーとの事業アライアンスを進めてまいります。

デンカグループは、企業活動の根幹となる企業理念「The Denka Value」の実践を推し進めるため、ESGの視点からその基本的な方針を定めた「デンカグループCSR基本方針」を制定し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めております。

バイオスティミュラントは農産物の生産拡大を支援し、人類共通の課題であるSDGs（持続可能な開発目標）の解決につながるものと考えております。当社グループは今後も持続可能な社会発展に貢献する新たな製品・技術を提供することで、SDGs達成に貢献してまいります。

以 上

[本発表に関するお問い合わせ先]

C S R ・ 広報室 TEL : 03-5290-5511

[製品に関するお問い合わせ先]

インフラ・ソーシャルソリューション部門 アグリプロダクツ部 TEL : 03-6214-3235

〈注釈〉

*1 出典：日本バイオスティミュラント協議会 HP（一部改）

*2 出典：MarketsandMarkets 2017年

※「アヅミン」は当社の登録商標です。